

令和3年度 授業改善推進プラン

武蔵村山市立第七小学校

学校全体で 取り組む共通事項		○年間を通した読書活動の推進。 ○体育の学習や休み時間での活動で様々な運動に親しむ。 ○全教員が一つのテーマを決め、授業公開をしながら授業力向上のため研究を進める。		
教科	①児童の実態・課題	②授業改善の取組	③取組結果	
国 語	低 ・語彙力、理解力の差が大きい。 ・言葉を文として捉えることに課題がある。	低 ・短作文などで文を書くことに慣れる取組をする。 ・文型を提示し抵抗なく文を書くことができるようにする。	低 ・取組により、徐々に慣れてきた。 ・文型の提示は引き続き必要に応じて行っていく。	
	中 ・読解力が弱く表面的な読みに陥りがちである。 ・漢字の定着の差が大きい。	中 ・発問や教材の工夫をする。 ・読書活動を推進する。 ・漢字の反復学習で定着を図る。	中 ・発問や教材を工夫することで、理解が深まった。 ・漢字の定着については、継続した取組が必要だと感じた。	
	高 ・漢字の定着が弱い。 ・文章を読んだり、考えを言葉にして表現したりすることが課題である。	高 ・テストを活用し漢字の定着を図る。 ・日記や短作文を継続して行い、考えを表現することに慣れさせていく。	高 ・宿題等での日記や短作文の取組により、抵抗なく文章を書けるようになってきた。	
算 数	低 ・文章題の読み取りが難しい児童が多い。 ・「時計」「長さ」に課題が見られる。	低 ・ノートなどを使って考えをまとめる学習をすることで文章題に慣れさせる。 ・基礎練習を反復して行う。	低 ・文章題については、苦手意識がある児童が多いので、引き続き手立てを講じていく。	
	中 ・文章題の意図が分からず問題に取組めない。 ・理解の個人差が大きい。	中 ・文章題の解き方を考えたり、図や表で説明したりする活動をしていく。 ・習熟度に合わせて活動を工夫する。	中 ・説明したりする活動は計画的に行った。力を付けていく必要がある活動なので引き続き行っていく。	
	高 ・計算の仕方が分かっても、文章題の意味が分からずに取組めないことがある。 ・計算問題に課題が見られる。	高 ・習熟度別クラスごとに内容を工夫し定着を図る。 ・前学年までの計算練習を遡り復習していく。	高 ・学習を通して、前学年までの復習の必要性が分かった。継続して定着を図っていく。	
体 育	・都体力テストの結果から、特に「反復横跳び」「シャトルラン」の結果が低い。つまり、体力と瞬発力に課題があるといえる。 ・運動が好きな児童も多い一方で、放課後や休み時間にほとんど体を動かさない児童も一定数いる。	・「縄跳びカード」の作成・実施により、瞬発力、体力の向上を図る。 ・授業でカードに取り組むだけでなく、運動委員による「検定ウィーク」や、家庭でも取り組むことができる内容を目指し、児童が習慣的に体を動かす取組としていく。	・縄跳びカードを使った縄跳び週間の取組により、意欲的に活動することができた。来年度以降も継続して取り組んでいく。	